

歴史 | 探訪

~文化財を巡る~ 24

豊岡の文化財を紹介します。皆さんの身近にある文化財を見ていきましょう。

《問合せ》文化振興課 ☎23-1160

「古文書(書跡・典籍)」

古文書とは、過去に書かれた個々の記録や日記、手紙などをいいます。昭和50年からは、書道の優れた作品で禅宗の僧侶が書いた書などが書跡、中国や日本の古い本、仏教のお経や教えを書いた本などが典籍として「書跡・典籍」に区別され、「古文書」と分けられるようになりましたが、それ以前は全て古文書として取り扱われてきました。歴史上または芸術上価値の高いものが指定の対象となっています。

進美寺文書

(県指定)日高町赤崎

建久5年(1194年)から暦応2年(1339年)の間に書かれた文書で、軸物2巻と無表具の6通からなっています。当時の進美寺が朝廷と鎌倉幕府の祈願所として但馬を代表する寺となっていたことや、書かれている人名や役職名から但馬国衛と守護所の組織や機能をうかがうことが



ができるなど、歴史上貴重な内容が記されています。

光行寺胎内文書

(市指定)元町

光行寺の本尊である阿弥陀如来像の胎内に、遺骨とともに鎌倉時代中期の54葉の文書が納められていました。僧円空が弟子であった覚智尼のために祈った願文といわれています。この願文紙には3cmの小さな阿弥陀像17,497体がぎっしりと刷られていて、覚智尼が生まれてから死ぬまでの総日数と同じ数になっています。



大円寺開山悦叔禅師語録

(市指定)日高町栗栖野

大円寺を開山した南禅寺の269世悦叔禅師が書いたとされる語録集で、3冊からなっています。慶長8年(1603年)から元和7年(1621年)までの19年にわたる法語や行事などが記されています。南禅寺や禅宗の歴史を知る上で貴重な資料であり、後世になってから朱墨で句読点や下線が加えられて、大円寺で大切に保管されてきました。



悦叔禅師の法語や行事などが記されています。南禅寺や禅宗の歴史を知る上で貴重な資料であり、後世になってから朱墨で句読点や下線が加えられて、大円寺で大切に保管されてきました。

御用部屋日記

(市指定)出石町内町

出石藩の御年寄(家老)が、月番で日々のできごとを記録した藩の日記の一つで、藩主が在国のときは「御城在日記」、江戸に参勤しているときは「御留守日記」と表記されています。文化12年(1815年)正月から明治5年(1872年)2月まで、693冊も残されています。藩行政から城下の庶民生活まで、手に取るように分かる資料です。



語句の解説

- ・国衛…律令制で国司(朝廷から任命された役人)が政務をとった役所
- ・円空…高屋に配流になった雅成親王の子浄円の師とされるが、不明
- ・願文…神仏に対して祈願の内容や意図を表すために作る文書。祈願文
- ・法語…高僧などが仏の教えを分かりやすく書いた文

●発行/豊岡市
☎0796612311
FAX 2411004
●編集/政策調整部秘書広報課
FAX 231124

〒668-8666
兵庫県豊岡市中央町2番4号
URL <http://www.city.toyooka.lg.jp>

(総合支所)
・竹野 ☎4711111
・出石 ☎5231111
・但東 ☎5442311
・城崎 ☎10001
・日高 ☎10011
・豊岡 ☎10001